

空とぶ王子⑥

- (1) 「おい、お前はオレたちのことを笑ったな。さア表へ出る」と、ステパンのケライになつたナラズモノがいつたとき、アテニー王子はニッコリ笑つて「ああ、出てやるよ」「よし出ろ」
- (2) ドヤドヤと外へ出ていく一同を見てステパンは「あの若いやつは生意氣だから、きっとみんなにコテンコテンにのされるだろ」といつていましたが「どれ、ようすをみてやるか」と立ち上がつて
- (3) 外へ出てみると、向こうで「えーい、わーっ」というさわぎがはじまりました。「おやっ、やられているのはオレのケライだ」
- (4) ステパンがおどろいたのもムリはありません。勝つと思った自分のケライのナラズモノはこてんこてんにやられてみんなノビています。「やっ、生意氣な若ぞうめ」
- (5) 「きさま、よくもオレのケライをやつたな」「お前のケライか。ウハハハハ、退治もしないドラゴンを退治したというお前がこいつらの主人か」「何ツ、なまいきな、よーしこうしてやる」
- (6) 「えーい」ビューパシーン。ステパンが斬りつけました。しかし、ドラゴンの血をあびて死なないように王子はステパンの剣をはじきかえしてしまいます。「ややっ」
- (7) 「バカモノ、えーい」「わーっ」アテニー王子のヌキ打ちでステパンは剣をうちおとされてしましました。
- (8) 王子はゆうゆうと去つていきます。ナラズモノもステパンもおどろいて手出しができません。「ウーンおどろいた。なんという強いやつだ」「テヘヘヘ、とてもかないませんや」
- (9) ステパンはナラズモノとわかれ、「あいつはオレのことを退治もしないドラゴンを退治したといつていたな。ことによるとあいつが」とかんがえながらくると、
- (10) ドロドロドローン。「まで…」とステパンの前に白いケムリが立つて、一つの手があらわれました。「あっ」とおどろくステパン。果して…